

☆放課後子ども教室☆

足元にはドングリ、木枝の先を見上げるとまだ緑色をしている栗のイガや、コクワの姿が見えるようになりました。ここ数年、木の実が豊作が続いている印象がありますが、今年は果たしてどうでしょうか。また子どもたちと一緒に栗ひろいに出かけたいものです。

8月の放課後教室は、最後まで夏を楽しもう！ということでアイスシャーベットづくりやプール遊びの活動を行いました。アイスシャーベットづくりはまず2リットルのペットボトルの底を抜き、氷と塩を入れます。密閉保存できる袋にジュースを入れて封をし、氷の入ったペットボトルの中へ。切り取った底の部分をガムテープでとめてふたをしたら、あとはひたすらそれを振り続けます。残念ながら冷やし方が足りず、固まらないグループもありましたが、交代でペットボトルを振りながらシャーベットづくりを楽しんでいました。プールでの活動では、水中オニゴッコやリレーなどをして遊びました。昨年はあまり泳げなかった子が「見て！練習して泳げるようになったよ」と自信を持って泳ぎを披露する姿がとても微笑ましかったです。学校の授業では登場しない、ライフジャケットという道具を使ってラッコのように浮いてみたり、シンクロナイズドスイミングの真似を試してみたり、子どもたち同士、自然と寄り集まって色々な遊びを展開していました。



9月に入り、程よく涼しい放課後の時間帯は、外遊びにはとても最適です。秋晴れの空に飛びかうトンボを追いかけたり、雨上がりの草っぱらでカエルをつかまえたり、収穫されたカボチャの山を近くの畑まで見に行ったりしました。季節が移り変わっていく様子に触れ、「また今年も落ち葉で遊びたいな」「コクワの実、ちゃんと生るかな？」と、これから深まる秋ならではの遊びを、子どもたちも楽しみにしているようです。



天気の良い日は外へ！ 雨上がりには水たまりで泥あそびも楽しみました☆

8月20～21日（木～金）の2日間、厚南中学校の2年生2名が勤労体験学習として放課後教室に来てくれました。2人は小学生のころ、放課後教室に参加してくれていました。放課後教室の卒業生です。10分程度のミニゲームなどを考え、実際に子どもたちの前で実践したり、活動報告のブログを書いてもらうなどの仕事を体験してもらいました。放課後教室が始まった4年前、「小学校を卒業したら終わりではなく、いつか卒業したみんなが今度はスタッフ側になって、一緒にプログラムをつくれたら素敵だね」と話していたことを思い出しました。夢に描いていたことが、ひとつ現実になりました。参加者としての経験をもとに、活動を運営する側に立つと見える世界があることを、少しでも感じてくれたら嬉しいです。来てくれた2人への感謝とともにこれからもまた頑張っていこうと思った2日間でした。

